

ニッケとスクールベン

廃棄制服がチエアに

高校卒業制作で実証

ニッケと学校制服販売のスクールベン（埼玉県朝霞市）は、不要になった学校制服のアップサイクルの取り組みとして、埼玉県立新座総合技術高校の廃棄予定の制服からフェルトボードを制作、同校の卒業制作に提供した。

このプロジェクトは、スクールベンが2025年度「埼玉県サイキュラーエコノミー

お披露目された再生フェルトボードによる個性的なチエア



寸受注用のサンプル、卒業生からの寄贈など計107点を回収。これをニッケの印南工場（兵庫県加古川市）で解体および反毛加工し、フェルトボード製造に必要な反毛原料100kgを生産した。

反毛原料は、

棒を収納できるスペースを設け、使用シーンを意識している。アニマルチエアは、幼稚園児が楽しんで座れる仕様で、背もたれ部分に動物のシルエットを取り入れ、園児自身を取り換えられる。実用性と視覚的な魅力も兼ね備えた。2作品は4～8日に同県立近代美術館で行われた「埼玉県立美術系高校作品展・卒業制作展」で一般公開され、展示後は学校に寄贈される。

企画・制作に取り組む中で、「廃棄繊維を原料としたフェルトボードを用いて制作ができた」との相談を受けた。

ニッケは衣料品回収・循環プロジェクト「W AONAS」（ワヲナス）を推進しており、学校制服のアップサイクルの検証のため、パートナーとして参画した。

まず、スクールベンが廃棄予定の制服や採

掛けるアボード（世田谷区）が参画。材質の特性や加工性を踏まえ、チエアとしての実用性や強度との両立が可能かについて技術検証を重ねた。

完成したチエアは「ふえるまーた」チエア」と「アニマルチエア」。「ふえるまーた」は音楽記号で「小休止」を意味するフェルマータをモチーフとしている。制作した生徒が吹奏楽に親しんでいることから、指揮者が楽曲の合間に短時間休憩できるチエア」という発想が形となった。指揮

棒を収納できるスペースを設け、使用シーンを意識している。アニマルチエアは、幼稚園児が楽しんで座れる仕様で、背もたれ部分に動物のシルエットを取り入れ、園児自身を取り換えられる。実用性と視覚的な魅力も兼ね備えた。2作品は4～8日に同県立近代美術館で行われた「埼玉県立美術系高校作品展・卒業制作展」で一般公開され、展示後は学校に寄贈される。